

プログラム・講師紹介

開場

13:30 受付開始

開会

14:00 開会挨拶 滋賀県気候変動適応センター長 高木 浩文
(滋賀県琵琶湖環境部次長)

講演 I

14:05~14:35 「地球温暖化と異常気象」
気象予報士 菊池 真以 氏

これまでの出演番組
「NHKニュース7」、「おはよう関西」など



講演 II

14:35~14:50 「滋賀県の気候変動と県民の関心」
東京都市大学環境学部 教授 馬場 健司 氏

14:50~15:05 「気候変動影響と気候変動適応センター」
国立環境研究所気候変動適応センター
センター長 向井 人史 氏

15:05~15:20 「気候変動の農業への影響」
京都大学農学研究科 教授 白岩 立彦 氏

15:20~15:35 「気候変動と災害リスク」
京都大学防災研究所 教授 中北 英一 氏

休憩

15:35~15:45 この時間にパネリストへの質問を「質問票」に記載して提出してください。
パネルディスカッションの時間に紹介します。

※ 時間の関係で全ての質問にお答えできない場合があります。
予めご了承ください。

パネルディスカッション

15:45~16:25 パネルディスカッション
「家庭・地域・行政に求められる適応策を考える」

<コーディネーター>

・ 滋賀県立大学名誉教授 仁連 孝昭 氏

<パネリスト>

・ 国立環境研究所気候変動適応センター長	向井 人史 氏
・ 京都大学農学研究科 教授	白岩 立彦 氏
・ 京都大学防災研究所 教授	中北 英一 氏
・ 京大大学生態学研究センター長	中野 伸一 氏
・ 滋賀大学経済学部 教授	田中 勝也 氏
・ 立命館大学食マネジメント学部 教授	吉積 巳貴 氏
・ 東京都市大学環境学部 教授	馬場 健司 氏
・ 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター研究員	河瀬 玲奈 氏

<ゲスト>

・ 気象予報士 菊池 真以 氏

閉会

16:30 閉会

司会進行

びわ湖放送アナウンサー

森田 恵奈 氏



～ “しがCO₂ネットゼロ” ムーブメント～

2050年までに滋賀県内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指して一緒に取組を開始しましょう！

【趣旨】

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加など、気候変動およびその影響が全国各地で現れており、多くの犠牲者をもたらすとともに住民の生活、社会、経済および自然生態系に多大な被害を与えています。

今後、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨のリスクはさらに高まることが予測されることから、温室効果ガスの大幅削減を進めるとともに、起こりうる気候変動の影響に適切に対処していくことが重要です。

2018年10月に発表されたIPCC1.5℃特別報告書では、パリ協定の目標である産業革命以降の世界の平均気温の上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃未満に抑える必要性が指摘されました。このためには、人為的な二酸化炭素排出量を2050年前後に実質ゼロにする必要があります。

本県においても、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境を守り、豪雨災害等に強い持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者、行政が一丸となって取組を開始しましょう。

ぜひ、「二酸化炭素排出量実質ゼロ」の取組へ、ご賛同をお願いします。

□ 私は、「二酸化炭素排出量実質ゼロ」の取組に賛同し、行動することを宣言します。（参加の意思を表すものとしてチェックしてください。）

【行動例】

- ① 適正冷暖房の温度の設定・夏冬のエコスタイル
- ② 節電、節水の励行
- ③ 緑化の推進
- ④ 省エネ性能の高い機器や家電の選択
- ⑤ エコドライブの励行
- ⑥ プラスチックごみの削減
- ⑦ 自動車利用の抑制
- ⑧ 3Rの取組
- ⑨ 地産地消の取組
- ⑩ フードロスの削減
- ⑪ 建物の断熱化の推進
- ⑫ 再エネの導入やエネルギーの効率的な利用
- ⑬ CO₂排出係数の低い電力会社の選択
- ⑭ その他滋賀県低炭素社会づくり推進計画に掲げる県民や事業者の取組例等

滋賀県ホームページ（しがネット受付サービス）でも賛同いただけます（以下QRコード）



賛 同 日 付	年 月 日
お住まいの市町 または 事業所の住所	〒 (市・町)
お 名 前 (事業所名) (ニックネームでも結構です。事業所の場合は事業所名および人数)	_____ (人) ☐ 公表不可の場合は、チェックしてください。
メールアドレス (任意)	@ 温暖化対策に関する情報をお送りします。 ☐ メールが不要の方はチェックしてください。
年 齢 (個人の場合のみ)	☐ 10代未満 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

- ・滋賀県ホームページで賛同いただいた方（個人・事業所等）を紹介
- ・「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメントポスター」など啓発資料の提供（事業所の方のみ）等

令和元年度 滋賀県気候変動適応シンポジウム

「地球温暖化と異常気象」

－災害や異常気象から身を守るためには－

近年、豪雨や記録的な高温など、異常気象が相次いでいます。自然災害や熱中症などから身を守るために、家庭や地域などのできる「適応策」を一緒に考えましょう。



台風21号による洪水・蒲生郡竜王町（2017年10月）

適応策とは

地球温暖化により生じる
影響に予め備えること

講演資料について

紙資源の保護の観点から、講演資料の紙配布は行いません。
講演Ⅱの資料は、滋賀県ホームページにも掲載しています。
ご理解とご協力をお願いします。

＜ 滋賀県トップページ＞県民の方＞環境・自然＞温暖化・エネルギー＞
気候変動適応策の推進 ＞

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/13573.html>

日 時 令和2年（2020年）1月31日（金）

14:00 ～ 16:30

SDGs未来都市・滋賀

会 場 大津市民会館 小ホール

主 催 滋賀県



滋賀県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。